東京都立福生高等学校

令和 8 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 文学国語

教　科：国語　　科　目：文学国語　　単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年

使用教科書：	教科書：新編　文学国語【大修館書店】

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
【思考力、判断力、表現力等】	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者のとの関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目　文学国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の文学に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり高めたりすることができるようにする。	我が国の言語が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、日本語の担い手としての自覚をもたせつつ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単　元　1　そとみとなかみ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	7
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	日本の言語文化の特質や、日本における内と外の考え方について理解することができる。	対比構造について理解を深める。				日本の言語文化の特質や、日本における内と外の考え方について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	読むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈することができる。	教科書等				読むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的にかかわろうとしている。	意見の発表や交換等				上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	単　元　2　星取り	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	日本の言語文化に特徴的な表現や変化を理解し、語感を磨くことができる。	基礎的な古文の知識と文法事項を理解する。				日本の言語文化に特徴的な表現や変化を理解し、語感を磨いている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	古文を読むために必要な言語表記の知識や言葉の意味の理解を深めることができる。	教科書等				古文を読むために必要な言語表記の知識や言葉の意味の理解を深めている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	説明に基づいて参考書に積極的に取り組み、言語文化への理解を深めようとしている。	意見の発表や交換等				上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などのおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	定期考査（第１学期中間考査）/返却と解説									1
	単　元　3　晴れた空の下で	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	7
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	日本の言語文化の特質や、年を取るということについて考えることができる。	登場人物の性格や心情を捉える。				日本の言語文化の特質や、年を取るということについて考えている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	読むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈することができる。	教科書等				読むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的にかかわろうとしている。	意見の発表や交換等				上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	単　元　4　児の飴食ひたること	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	5
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解することができる。	登場人物の描写に着目しながら、作品を読み味わう。				古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解することができる。	教科書等				古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。	意見の発表や交換等				上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などのおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	定期考査（第１学期期末考査）/返却と解説									1

東京都立福生高等学校

令和 8 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 文学国語

教　科：国語　　科　目：文学国語　　単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年

使用教科書：	教科書：新編　文学国語【大修館書店】

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
【思考力、判断力、表現力等】	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者のとの関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目　文学国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の文学に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり高めたりすることができるようにする。	我が国の言語が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、日本語の担い手としての自覚をもたせつつ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	単元 5　鞄	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	日本の言語文化の特質や、この作品に込められた寓意について考えることができる。	寓意を読み取り、考えを深める。				日本の言語文化の特質や、この作品に込められた寓意について考えている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	読むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈することができる。	教科書等				読むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的にかかわろうとしている。	意見の発表や交換等				上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	単元 6　かぐや姫の昇天	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	本文中に登場するわが国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	登場人物の描写に着目しながら、作品を読み味わう。				本文中に登場するわが国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解することができる。	教科書等				古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	積極的に物語を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。	意見の発表や交換等				上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などのおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	定期考査（第２学期中間考査）/返却と解説									1
	単元 7　ナイン	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	日本の言語文化の特質や、情景描写の効果について考えることができる。	場面を理解した上で、通して登場人物の心情を捉える。				日本の言語文化の特質や、情景描写の効果について考えている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	読むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈することができる。	教科書等				読むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的にかかわろうとしている。	意見の発表や交換等				上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	単元 8　行く河の流れ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	5
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	本文中に登場するわが国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	無常観を踏まえた上で、筆者の主張を捉える。				本文中に登場するわが国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解することができる。	教科書等				古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	積極的に物語を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。	意見の発表や交換等				上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などのおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	定期考査（第２学期期末考査）/返却と解説									1

令和 8 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 文学国語

教　科：国語　　科　目：文学国語　　単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年

使用教科書：	教科書：新編　文学国語【大修館書店】

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
【思考力、判断力、表現力等】	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者のとの関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目　文学国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の文学に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり高めたりすることができるようにする。	我が国の言語が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、日本語の担い手としての自覚をもたせつつ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	単　元　9　山月記	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	7
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	日本の言語文化の特質や、漢文訓読調の文章の魅力を味わことができる。	登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。				日本の言語文化の特質や、漢文訓読調の文章の魅力を味わっている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	読むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈することができる。	教科書等				読むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的にかかわろうとしている。	意見の発表や交換等				上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	単　元　10　身内ほど厄介なものはない	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	5
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	日本の言語文化の特質や、随想調の文章の魅力を味わうことができる。	様々な文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。				日本の言語文化の特質や、随想調の文章の魅力を味わっている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	読むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈することができる。	教科書等				読むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的にかかわろうとしている。	意見の発表や交換等				上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などのおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	単　元　11　はしたなきもの	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	5
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	本文中に登場するわが国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	無常観という価値観を踏まえた上で、筆者の主張を捉える。				本文中に登場するわが国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解することができる。	教科書等				古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	積極的に物語を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。	意見の発表や交換等				上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	単　元　12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説									1